

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 891

2023年6月号

発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail: jcpsagamiko@gmail.com

トラブル続出の中、改定マイナンバー法を強行採決 保険証廃止は中止を！

マイナンバーカードをめぐる誤交付、誤登録が制度の土台を揺るがすなか、保険証を廃止しマイナンバーカードを国民に強要する改定マイナンバー法が6月2日、参院本会議で、自民、公明、維新、国民などの賛成で可決、成立しました。日本共産党、立憲民主党は反対しました。

トラブルが相次いでいるなか審議を打ち切り、法案だけ通すのは国民に対する国会の責任放棄です。

全国保険医団体連合会（保団連）は同日緊急の会見を行い、採決強行に抗議する声明を発表。声明では、健康保険証の廃止は、「無保険扱いとなる者を政策的に作り出す愚策だ」と、厳しく批判。また、マイナンバーカード保険証情報の誤登録について、「他人の情報の紐（ひも）づけは医療事故を招きかねない重大問題。国民の命と健康を軽視していると言わざるを得ない」と強調。住江憲勇会

長は、トラブルが続出していることに「普通の商取引なら返品ものというのが世間の常識」だと強調。「あらゆる方策を駆使して、来年初の健康保険証廃止を中止に追い込む運動を続ける」と訴えました。

誰もが医療を受けられる 国民皆保険制度の崩壊に

共産党の山下芳生議員は参院本会議における反対討論で、同法は「保険証1枚で誰もが医療を受けられる国民皆保険制度の崩壊につながるもの」と批判。開業医の63%が加入する保団連の調査で、オンライン資格確認で「トラブルがあった」と回答した医療機関が6割にも上り、「有効なマイナ保険証が無効と判定された」等のトラブルへの対処で最も多かったのは「健康保険証で確認した」というものだったと指摘。「保険証が廃止されマイナ保険証のみで受診する患者が増えたら対応で

きない。保険証を残してほしい」との医療関係者の切実な訴えを突き付け、「廃止されたら患者が窓口で10割の負担を求められるケースが増えることは避けられない。」と主張しました。

さらに、▼暗証番号があるマイナ保険証を保管するのは介護施設等にとってこれまで以上の重負担となる▼施設入居者のマイナ保険証申請を誰が行うのか具体的な方策がなく、訪問・在宅医療・高齢独居の人の申請・管理も未解決▼受診時に、顔認証がエラーになる、暗証番号入力が困難など、障害者も困難に直面する等の問題点を列挙。「『だれ一人取り残されない、人にやさしいデジタル化』などというが、介護高齢者や障害者など最も弱い立場にある人々を『取り残す』ものだ」「こんな法案を通すことは断じて許されない。強行されても矛盾はなくならない。国民のたたかいがいっそう広がるだろう」と強調しました。



自然観察シリーズ
NO. 559
植物

津久井の低山④

鉢岡山 はちおかやま

コロナ禍の間、近場の山を歩いて体力を作りながら、自然観察をしていました。

鉢岡山（四六〇米）は、最近手軽なハイキングコースとして知られるようになった「日連アルプス」のコース上にある低山です。

藤野の牧野地区、新和田と篠原にかけてある山で、山頂には相模原市の防災無線とTVKの中継アンテナが建っています。周囲は樹木が伸びて見通しが悪くなってきました。周囲は樹木が伸びて見通しが悪くなってきましたが、戦国時代は烽火台があった場所で、眺めの良いはずでした。

「日連アルプス」は、日連金剛山から登って、峰という展望台を通って、鉢岡山に寄り道してコースに戻り、日連山、宝山と歩いて、相模湖自動車教習所近くの日連グラウンド（旧日連小学校）の所へ降りる軽いハイキングが楽しめるコースです。春にはシユンランやキンラン・ギンラン・フデリンドウ・イチヤクソウ・ヒメハギなど見られました。

オンライン診療を行うことと 診療所を統廃合することは別問題

5月27日、モバイルクリニック事業の体験会が3カ所の会場でおこなわれました。

市は中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針（案）の中で、通院の負担を軽くする、限られた医療資源を生かすなどの理由で診療所を統廃合し、オンライン診療の推進を掲げています。それを体験してもらうための企画でした。オンライン診療は結構ですが、診療所がなくなるのは困ります。

病院まで速い
家族が仕事でいそがしい
交通費が高い

ご自宅に移動診療車が伺います

移動診療車が自宅へ訪問
車内でオンライン診療
看護師が診療のお手伝い

モバイルクリニックのイメージ 当日配布された資料より